



良心、そして志が社会を動かす

校長 鶴田 欽也

11月、朝夕と日中との寒暖の差が大きくなり、佐賀市内も紅葉が美しい季節となりました。県庁前の銀杏並木が黄色く色づき、落ち葉が積もって歩道が一時黄色のカーペットのようになる季節です。本校でも高等部の生徒玄関前のイロハモミジが紅葉しました。

■ 創立記念日の全校朝礼

10月23日（金）は96回目の創立記念日で、全校朝礼を行いました。校長講話は、本校が大正13年10月23日に創立されたことについて、創立当時の関係者の思いや志などについて、さらには今から約50年～40年前の本校の移転とその当時の様子について、といった内容でした。（本校は今から51年前の昭和44年から約11年かけて、現在の佐賀県総合福祉センターの場所（中折）から現在の校地（天祐）へと移転しました（昭和55年3月完了））。

次に、毎年恒例の卒業生の講話として、本校職員の榎藤美和さんが「点字新聞の歴史を通して創立当時を考える」と題して話をしました。とても興味深い話でしたので、要約、抜粋して掲載します。

今年（2020年）で日本の点字がつくられて130年になります。本年7月には日本唯一の点字週刊新聞「点字毎日」5000号が発行されました。点字が世に広く行き渡ることが大切だと考えます。見え方に不便を抱える人にとって、勉強して人の役に立つ人間になるということが自らを豊かにするだけでなく、社会の豊かさにもつながっていくと思うからです。

「点字毎日」の創刊は、本校創立の2年前の大正11年です。当時はラジオ放送もなく、点字を読める視覚障害者もわずかで点字新聞を発行しても収益は見込めず、福祉の概念も確立せず社会全体には広まっていなかった時代です。そのような中、初代編集長で全盲の中村京太郎は発刊の言葉で「社会の良心に働きかけ、点字新聞をつくる人間の良心を問う」と述べています。翌年大正12年に各府県に盲学校を置くことが決まり、さらに翌年の大正13年に本校が創立されました。

このような社会の大きな動きの根底には、さまざまな思いや志があったと感じます。本校の歩みは、「点字毎日」の志と重なると思います。「社会の良心に働きかけ、盲学校をつくる人間の良心を問う」と言い換え、本日の感謝の言葉とします。

人間の良心や、社会の良心がさまざまな思いや志を導き出し、社会をよい方向へと変革していくのだと強く感じました。

全校朝礼の最後は「校歌」でした。まず、以前応援歌としてよく歌われていた、テンポの速い「第二校歌」のCDを聞きました。次に、久しぶりにマスク着用ではありましたが、全員で校歌を斉唱しました。

本校は、4年後の令和6年（2024年）に創立100周年を迎えます。4年後の本校はどんな様子でしょうか。100周年に向けて創立当時の思いや志を振り返る、いわば、過去から現在、そして未来へ思いを馳せる創立記念日の全校朝礼になったと思います。

■ 京都フィル「夢いっぱいコンサート」

10月15日（木）午後、体育館で京都フィルハーモニー室内合奏団の演奏会を開催しました。当日は弦楽器、管楽器、打楽器など13名の楽団員の方によるクラシック音楽や童謡等の迫力ある演奏はもちろんのこと、楽器の紹介、本校児童生徒とのボディパーカッションによる共演、楽器に触れるコーナーやオーケストラ伴奏で校歌を歌うなど企画も多彩で、笑いあり感動ありの楽しいひとときでした。

演奏会終了後はお見送りもできず失礼いたしました。後日、記念としてオーケストラ演奏用の本校校歌の楽譜を送ってくださいました。「本校での演奏会のためにここまで準備をしてくださっていたのか。さすがはプロ」とその丁寧な仕事にも感銘を受けた次第です。ありがとうございました。

10月19日（月）～11月7日（土）の期間、「図書館まつり」を開催しました。児童生徒・職員の「お勧めの一冊」の紹介や作品展示、点訳ボランティア「秋桜の会」様より制作していただいた点字・拡大図書の紹介、ゲームやクイズ、お話し会等のイベントを実施しました。今回のお話し会は新型コロナウィルス感染拡大防止のため、映像と音声を予め収録し、オンデマンド配信で実施し、各教室設置の電子黒板で視聴するようにしました。今回も児童生徒たちからの評判は上々で楽しんで聞いてくれました。また、全体ゲームについても、3密を避けるため、体育館で実施し大変盛り上がりしました。ウィズコロナでいつもとは違った形の図書館まつりになりましたが、児童生徒たちは十分に楽しんでくれていたようです。

幼小小学部

10月27日(火)社会見学で武雄・嬉野メルヘン村に行きました。3密を避け、火曜日の実施になりました。遊具やアスレチック、動物との触れ合い等楽しみました。



盲学校でリレーをするときは、介助者が手引きをすることが多いのですが、小学部では、四角形に張られたロープに輪っかを通し、その輪っかを持って走るリレーを開発し取り組みました。走る場所がわかり、全力で走ることができました。



中学部

11月に、1年生は初めての職場体験に行ってきました。とても緊張しながら出かけていきましたが、帰ってきたときは、練習通り挨拶ができたことや、指示された作業をしっかりとできたことなどを、ホッとした顔で話してくれました。目標をもって取り組み、働くことに対する意識を高める体験になりました。来年への意欲も見せてくれて頼もしいです！



障害者支援センターまや



佐賀県立図書館

社会見学についての事前学習の様子です。全学年合同の学習は、話し合い活動ができる有意義な場として大切にしています。



高等部

【全国点字競技会】

10月29日(木)に本校で点字競技会を行いました。「50音」「転写」「聴写」の3部門がありました。点字競技会に向けて毎日練習を重ねた努力が実り、それぞれが本番で自己ベストを記録しました。結果発表は1月の予定です。



【防災セミナー】

11月5日(木)本校体育館で日本赤十字社の講師による防災セミナーが開催されました。「自分の命は自分で守る」というタイトルで、防災に備えて「自助」の大切さや、避難所でエコノミー症候群にならないための体操、タイツを使つての応急処置の方法など、実践的な内容を学びました。「事前の備え」が明暗を分けることを感じ取ってくれたと思います。



寄宿舎

11月12日(木)に寮長選挙を行いました。今年度は、中学部から2名が立候補をしてくれました。立会演説会では2人とも寄宿舎に対する熱い思いを舎生に伝えてくれました。

その後、選挙管理委員の立ち合いの元、投票が行われ、寮長、副寮長が決定しました。令和3年1月より新体制に移行します。元気いっぱいの2人でこれからますます寄宿舎を盛り上げていってほしいと思います。



真剣に投票中



立会演説会
1年間頑張ります！！

見えないことや見えにくいことで困っていませんか？
「目の支援センター ゆうあい」へ相談してみましょう。
相談は無料です。秘密は厳守します。
相談しても、盲学校に転入学する必要はありません。

佐賀県立盲学校
目の支援センター
ゆうあい



TEL 0952-23-4672